

予 算 要 求 資 料

令和 2 年度 3 月補正予算 支出科目 款：農林水産業費 項：畜産業費 目：畜産振興費

事業名 畜産・酪農収益力強化整備等特別対策事業費

補助金（公共）【国補正】

（この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください）

農政部 畜産振興課 養豚・養鶏係 電話番号：058-272-1111（内 2875）

E-mail：c11437@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 補正要求額 170,000 千円（現計予算額：0 千円）

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財産 収入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
現計予 算額	0	0	0	0	0	0	0	0	0
補正要 求額	170,000	170,000	0	0	0	0	0	0	0
決定額									

2 要求内容

（1）要求の趣旨（現状と課題）

担い手の不足や長引く配合飼料価格の高止まり、家畜伝染性疾病への対応等、畜産を取り巻く環境は依然として厳しい。加えて、平成30年12月には「包括的及び先進的な環太平洋パートナーシップ協定（TPP11）」が発効、平成31年2月には日本と欧州連合（EU）の経済連携協定（EPA）も発効する等、安価な輸入品等との競合の激化が想定される。

このような国際環境の下、畜産の体質強化を図るためには、省力化機械の導入等による生産コストの削減や品質向上など、収益力・生産基盤を強化することが重要となってくる。

(2) 事業内容

令和2年度補正として国が予算化した「畜産・酪農収益力強化整備等特別対策事業」を活用し、地域の収益性向上及び生産性向上を図るための畜産クラスター計画を策定した畜産クラスター協議会について、収益力強化や畜産環境問題への対応に必要な施設整備等に要する経費の一部を補助する。

今回は【恵那畜産環境クラスター協議会】が実施する養豚施設の整備に対する補助を行う。

(3) 県負担・補助率の考え方

補助率 1 / 2 以内

施設整備事業については、補助金は国から県を経由して交付されるため県予算措置が必要である。

(4) 類似事業の有無

無

3 事業費の積算内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
補助金	170,000	豚舎の新築
合計	170,000	

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

「ぎふ農業・農村基本計画」において、各畜種の生産基盤強化に取り組むこととしている。

(2) 後年度の財政負担

本県の畜産生産基盤の強化に資する事業であるため、継続して推進する。

(3) 事業主体及びその妥当性

事業実施主体となる協議会は、県により畜産クラスター計画の認定を受けた協議会であり、当該事業を実施することにおいて妥当である。

事業評価調書（県単独補助金除く）

<input type="checkbox"/> 新規要求事業
<input checked="" type="checkbox"/> 継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

国の畜産・酪農収益力強化整備等特別対策事業を活用した施設整備等の取組みを支援することにより、県内畜産業の収益力や生産性の向上、生産基盤の強化を図る。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前	指標の推移		現在値 <small>（前々年度末時点）</small>	目 標	達成率
事業実施延べ協議会数	0 (H27)	4 (H28)	6 (H29)	8 (H30)	9 (R3)	88%
	(H)	(H)	(H)	(H)	(H)	%

○指標を設定することができない場合の理由

（前年度の取組）

・ **事業の活動内容（会議の開催、研修の参加人数等）**
 令和元年12月に東海農政局から要望調査があり、事業の実施を希望した畜産クラスター協議会に対し、事業実施に係る支援を行った。

（前年度の成果）

・ **前年度の取組により得られた事業の成果、今後見込まれる成果**
 施設整備事業の実施により、地域の課題が解消され、畜産経営の収益性や生産性向上に繋がり、畜産経営基盤の強化が見込まれる。

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の必要性（社会経済情勢等に沿った事業か、県の関与は妥当か） ○：必要性が高い、△：必要性が低い 	
(評価) ○	地域全体の収益性や生産性の向上を目指す事業であり、県として本県畜産経営の基盤強化に繋がる取組みであることから必要な事業である。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の有効性（指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか） ○：概ね期待どおり又はそれ以上の効果が得られている、△：まだ期待どおりの成果が得られていない 	
(評価) ○	施設整備事業の実施により、地域の課題が解消され、畜産経営の収益性や生産性向上に繋がっている。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の効率性（事業の実施方法の効率化は図られているか） ○：効率化は図られている、△：向上の余地がある 	
(評価) ○	畜産クラスター計画及び施設整備計画の審査にあたり、取組内容を精査している。

(今後の課題)

<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業が直面する課題や改善が必要な事項 事業実施にあたり、年度内に事業完了する必要があるため、事業の進捗管理を適正に行っていく必要がある。
--

(次年度の方向性)

<ul style="list-style-type: none"> ・ 継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 次年度以降も本事業が継続実施されれば、早い段階からの事業実施に向けた助言・指導を行うとともに、事業実施後の進捗管理を適切に行い、畜産経営基盤強化に繋げる。

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント又は事業名及び所管課	—
組み合わせて実施する理由や期待する効果 など	—